

沖縄県立真和志高等学校シラバス		美術		コース クリエイティブアーツ		
科目名・単位数		美術史		(2)単位	学習レベル	標準
学習目標						
① 文化遺産や美術文化についての理解を深め、伝統文化を尊重する心を養う。 ② さまざまな芸術作品に触れることで、新たな美術文化を創造する能力を高める。 ③ 美術の歴史や概説だけではなく、作品を自分なりに解釈し、さまざまな視点から作品鑑賞が出来る。						
学期	学習内容		学習のねらい		提出物	
前期 (4月～9月)	4月	【西洋美術史】	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の人々が何をどのように表現しようとしたのかを考えることで、自己の表現との違い・共通点などを見出す。 ・美術の流れをとらえながら、作品の生まれた時代背景、作家の思いなどを理解する。 ・現代における美術のありかた、社会との関わりについて深く考える。 ・これまでの学習を踏まえながら、1つのテーマを取り上げ、多角的に調査、発表しながら学習する 	1 ワークシート	
	5月		・美術のはじまり(原始の美術)			
	6月		・文明と美術			
	7月		・キリスト教と美術			
	9月		・ビザンチン、ロマネスクゴシック			
後期 (10月～3月)	10月	【日本美術史】	・縄文、弥生、古墳時代の美術	・日本における美術史の流れを理解しながら、西洋の美術とはまた違った魅力を感じ取る。	6 ワークシート	
			・飛鳥、奈良時代	・仏教と美術の関わりについて学習する。	7 ワークシート	
	11月		・平安時代	・日本独特の美術が生まれた背景などを考えながら、絵巻物や大和絵のおもしろさを理解する。	8 ワークシート	
			・鎌倉、室町、桃山時代		9 ワークシート	
	12月		・江戸時代の美術	・庶民の生活を捉えた浮世絵など、美術と生活の関わりについて考えていく。	9 ワークシート	
	1月		・近代、現代の美術		# ワークシート	
	2月		・調べ学習	・1つのテーマで調査し、発表しながら学び合う。	# プレゼン資料	
	3月	まとめ				
評価の観点と方法						
① 授業に関心をもって、質問・発言などを積極的に行っていたか。 ② 美術史の流れを理解し、作品が生まれた時代背景や作家の思いなどを捉えることが出来たか。 ③ 作品に対して、さまざまな視点から鑑賞することが出来たか。						
使用教科書・副読本		無し		実習費		無し
教材・道具等プロジェクター・ワークシート等						